

国際人権法学会 ニュースレター

International
Human Rights Law
Association

NEWSLETTER

<http://www.ihrla.org/>

もくじ

- 1 理事長からのご挨拶
- 2 理事の改選・各委員会
- 3 企画委員会より
- 4 編集委員会より
- 5 『国際人権』公募論文募集
- 6 国際交流委員会より
- 7 研究大会
- 8 新入会員
- 9 国際人権若手研究会
- 10 事務局からのお知らせ
- 11 会費納入のお願い
- 12 合同委員会のお知らせ

既に3月、卒業シーズンとなりました。皆様、ご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。当国際人権法学会では、昨年11月をもって3年間理事長を務めてこられた阿部浩己理事長が退任し、申恵丰理事長が選出されました。阿部前理事長には、3年間ご苦勞様でした。これからも学会の発展のために種々のアドバイスをお願いします。本号ではまず理事長及び各委員会の主任から、就任に際しての抱負を語って頂きました。

1 理事長からのご挨拶

3年間の事務局長任期を終えたところ、このたび、はからずも理事長の任をお引き受けすることとなりました。多々の至らない点にもかかわらず温かく見守って下さり、信頼を寄せて下さった皆様に、心より御礼を申し上げます。

国際人権保障は、基準設定とその国内実施・レビューを中心に、規範的また手続的

に大きく発展してきましたが、障害者権利条約や先住民権利宣言のように近年採択された文書があることから分かる通り、その発展はなお続いています。そして、国内の人権保障のあり方に対して、普遍的な人権の観点から見直しや拡充をはかるための物差しの役割を果たしています。日本でも昨今、婚外子差別のように、当事者が国内的には圧倒的にマイノリティであるゆえに顧みられてこなかった問題が、国際人権法の視点を容れることで改善に至りました。

しかし、それ自体遅すぎたという批判を受けることは否めず、また、例えば非正規滞在者に対する退去強制手続の現状一つとってみても、日本の管轄下にあるすべての人が人間の尊厳に適った待遇を受けているとは到底言えません。さらに、シリア難民の受入れに対する日本の冷淡な対応は、国際社会を揺るがす人道的危機を前にして、我々一人一人の人権意識と、それに支えられた国としての人権政策のあるべき姿について、熟考を迫るものと言えるでしょう。

本学会は、こうした国内外の人権問題に絶えず目配りしつつ、各分野の研究者のみならず実務家や人権NGOの方々が集い、学際的な研究と真摯な意見交換ができる貴重なフォーラムです。今期は、その存在意義を一層明確に発揮すべく、これまで以上に充実した学会活動を展開していきたいと考えております。会員の皆様には、ご研究やご活動の一端をぜひ年次研究大会や学会誌などで共有していただき、持てる力を交換し高め合う場として本学会＝国際人権法コミュニティを活用していただければ深甚に存じます。

(申恵丰・理事長)

2 理事の改選・各委員会

2015年11月から3年間の任期（第10期）で、新理事長・理事が就任し、また、各委員会及び事務局のメンバーも新たになりました。理事の構成については、ホームページをご覧ください。各委員の所属は、2015年2月現在で事務局で把握されているものです。

<理事長>

申 惠 丰（青山学院大学）

<企画委員会>

主任：山元 一（慶應義塾大学）

副主任：寺谷 広司（東京大学）

委員：新井 京（同志社大学）

江島 晶子（明治大学）

大津 浩（成城大学）

勝間 靖（早稲田大学）

作花 知志（弁護士）

鈴木 雅子（弁護士）

須田 洋平（弁護士）

望月 康江（関西学院大学）

山口 直也（立命館大学）

<編集委員会>

主任：中井 伊都子（甲南大学）

副主任：菅原 真（名古屋市立大学）

委員：河合 正雄（弘前大学）

川岸 令和（早稲田大学）

齋藤 民徒（金城学院大学）

齋藤 正彰（北星学園大学）

田中 淳子（愛知学院大学）

徳川 信治（立命館大学）

中西 優美子（一橋大学）

西片 聡哉（京都学園大学）

藤原 精吾（弁護士）

<国際交流委員会>

主任：近藤 敦（名城大学）

委員：杉木 明子（神戸学院大学）

鈴木 秀美（慶應義塾大学）

建石 真公子（法政大学）

<ホームページ委員会>

主任：寺中 誠（東京経済大学）

齋藤 民徒（金城学院大学）

<事務局>

事務局長：北村 泰三（中央大学）

次長：寺中 誠（東京経済大学）

事務局員：佐々木 亮（跡見学園女子大学）

3 企画委員会より

2015年11月に理事長の交代に伴って、第10期企画委員会が発足しました。大変ご多用中にもかかわらず、企画委員へのご就任をご快諾いただきました10名の会員の方々には、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。常に企画委員会をリードして素晴らしい企画を次々と実現させた江島晶子・前企画主任と引き比べまして、私はあまりにも非力ですが、新企画委員の方々とは協力しながら、少しでもよい企画を実現していく所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

本期の企画委員会では、第9期企画委員会の基本方針であった、1 国際人権法の内実を深める体系的、理論的、学際的(理論と実務の架橋も含め)究明(研究)、2 上記研究に関連して国際人権法教育のあり方の検討(教育)、3 学術交流を妨げる様々な障壁の撤廃、を引き継ぎつつ、国際社会における難民問題の深刻化やテロリズム対策に関する問題等から、国内裁判における国際人権法の適用の問題まで見渡しながら、魅力的な企画を立てていきたいと存じます。

会員の方々には、今後もいろいろご協力をお願いすることが多々あろうかと存じますが、学会が真の意味での学術的対話の場になるように引き続き工夫していきたいと考えておりますので、ご意見などございましたら、学会アドレスまでどうぞお知らせください。

(山元 一・企画主任)



4 編集委員会より

このたび第10期編集委員会の編集主任を務めることになりました、甲南大学の中井伊都子です。1990年の創刊号以来、『国際人権』の高い学問的水準を確保し、研究者・実務者双方にとって有用な資料的価値を一層高めるために様々な努力を重ねられてきたこれまでの編集委員会の歩みを止めることなく、さらに充実した学会誌の刊行を目指してまいりたいと考えております。『国際人権』に関するご意見やご提案がございましたら、ぜひ編集委員会にお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

(中井伊都子・編集主任)

5 『国際人権』公募論文募集

『国際人権』27号は2016年10月刊行予定です。同号に掲載する公募論文の応募をお待ちしておりますので、次の要領に従って、「日本語で書かれた国際人権法に関する学術的なもので、未発表のもの」をご応募ください。

- ①資格：国際人権法学会会員
- ②文字数：10,000字以内
- ③提出期限：2016年3月31日
- ④提出方法：ワードファイル添付のメールで、editor@ihrla.orgにお送りください。

応募された論文は、編集委員会において規程による査読手続に付した上で、掲載の可否を決定します。詳しくは、学会ホームページに掲載されている公募論文規程・公募論文審査規程をご覧ください。

- ⑤公募論文規程
<http://www.ihrla.org/editorialrule.shtml>
- ⑥公募論文審査規程
<http://www.ihrla.org/refereerule.shtml>

6 国際交流委員会より

国際交流委員会は、学会の活動のうち主

として国際的な側面について検討・対応することを目的としています。設立以来3期目ということもあり、活動については模索中です。第2期委員会からの申し送りとしては、国際交流を一層推進するための1) 情報収集と2) 具体的な事業の検討が課題とされています。国外において、国際人権法に関する学会組織やこの分野で活躍している人が多い学会の存在を確認し、こうした団体との交流協定の締結を含め、国際交流を促進する可能性を模索したいと思います。

また、企画委員会と連携しながら、国際色のある大会を組織し、ゲストスピーカーの招聘や、日本語以外での発表のセッションなどの可能性も検討してみたいと思います。学会のニューズレターにおいてすでに掲載されておりますが、学会のホームページに掲載する国際情報をより豊かなものにするために、会員のみなさまにおいては、①国外で開催される予定の国際会議等の情報、②参加した大会等の報告、③その他の海外における活動報告等の情報を国際交流委員会に積極的に寄せいただければ幸いです。

近藤 敦（国際交流主任）

7 研究大会

昨年11月21～22日、第27回研究大会が大阪産業大学（大阪府大東市中垣内）にて開催されました。

次回研究大会は、2016年11月に法政大学（東京都千代田区）で行われる予定です。詳しくは確定次第、お知らせします。

8 新入会員

昨年の総会において新たに14名の方々の入会が承認されました。今回は、韓国からの入会がありました。特記して歓迎の意を表します。

- ・ 秋山 肇（国際基督教大学大学院）

- ・ 王 盈文（東京大学大学院）
- ・ 小川 隆太郎（弁護士）
- ・ 尾崎 陽一（参議院法制局）
- ・ 金澤 由佳（早稲田大学大学院）
- ・ 川上 愛（一橋大学大学院）
- ・ 仲 晃生（弁護士）
- ・ 中村 敏久（外務省）
- ・ 成嶋 隆（獨協大学）
- ・ 野上 典江（神奈川大学大学院）
- ・ 朴 燦運（韓国・漢陽大学）
- ・ 橋爪 英輔（慶應義塾大学大学院）
- ・ 波多野 綾子（東京大学大学院）
- ・ 初川 彬（一橋大学大学院）

9 国際人権若手研究会

学会の若手研究者が中心となり、若手研究者・実務家が集い、研究交流を深めるための研究会を開催しています。詳しくは、以下のウェブサイトをご覧ください。詳しくは研究会幹事にお問い合わせください。

<https://sites.google.com/site/jinkenwakate/home>

[代表幹事]菅原絵美（大阪経済法科大学）

10 事務局からのお知らせ

講演会等の催し物情報をお寄せ下さい。

国際人権法に関連する研究会やイベント等の情報がありましたら、事務局の専用アドレス event@ihrla.org にお寄せ下さい。学会会員へのインフォメーションメールでお知らせします。

11 会費納入のお願い

2014年度学会費（2014年10月－2015年9月）を未振込みの会員の方々は、恐縮ですが、お送りしている振込用紙にて、会費をお支払い下さい。年会費は、下記の通りです。

- 一般会員 8,000円
- 大学院生会員 5,000円
- 名誉会員 4,000円

会費振込状況については、宛名ラベル記載の数字をご参照ください。

12 合同委員会のお知らせ

今年度の研究大会の企画及び機関誌「国際人権」の次号の編集方針、国際交流計画等について検討するために、合同委員会が2016年4月3日（日）に中央大学市ヶ谷キャンパス（法科大学院）において開催されます。

編集後記

今回事務局を引き受けることになりました。昨年11月以来、初めてのニューズレター（NL）をお届けします。学会発足の時からメンバーですが、古いだけ取り柄で実際には、事務局の仕事の内容もよく解っていません。今回のNL編集発行も手間取り遅くなってご迷惑おかけしています。会員の皆様方にご迷惑をおかけしないようにと肝に銘じてつとめます。また会員の皆様方のご意見、ご要望を入れてより内容の豊かなNLを作っていきたいと思っております。

ところで、紙の媒体で郵送するという方法は、種々のメリットはありますが、経費節減という観点ではむしろネット配信にした方が合理的です。当学会のNLもネット配信を検討してもよろしいのではないかと思います。賛否両論おありかと思っておりますがいかがでしょうか。

（北村泰三）

編集・発行 国際人権法学会事務局
〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町42-8
中央大学法科大学院 北村泰三
電子メール info@ihrla.org
TEL : 03-5368-3584
FAX : 03-5368-3630